

CAT[®] CLUB

2020

No.

110



お客様見聞録 >> File 11 株式会社アースシフト

地域の発展に尽くしながら、
地球を変えていく
建設会社へ。

掲載写真は海外仕様で国内仕様と一部異なります。

CAT[®]

Team Caterpillar

Machine Sales Rep.



縄野年彦は、静岡営業所に勤務して11年目を迎えるマシンセールス。「モノを売る仕事に就くのであれば、大きな製品がいい」とキャタピラーに入社。学生時代にテニスで鍛えたフットワークを武器に日々、お客様のオフィスや現場へ通い、コミュニケーションを密に取っている。「商談が成立したときよりも、買っていただいた製品がお客様の利益につながったときに“いい仕事ができたと感じる」と語る縄野。大事なのは「売れて良かった」ではなく、「買って良かった」とお客様に思ってもらえること。そのこだわりと、仕事の先に待つ達成感が、縄野のモチベーションになっている。

中高6年間、テニス部での活動を通じて、仲間と一緒に努力し、目標を達成する喜びを学びました。私が所属する静岡営業所も、チームワークの良さではどこにも負けない自信があります。

今年アーティキュレートダンプ725C2の発注をいただいた際も、納車先が道幅の狭い山間部の現場で、車両を分解して運ぶ必要があったため、お客様から「大丈夫か?」とご心配いただきましたが、所長をはじめ、フロント、メカニック、部品サービスセールス(部サ)まで皆の協力を得ながら、工程や運搬ルートなどの計画を立て、無事納車することができました。私のキャリアの中で最も大きな機械の商談でしたし、営業所が一丸となってやりとげたことで、大きな達成感がありました。

お客様との関係づくりにおいても、チームワークは欠かせません。セールスがニーズに合った製品をお届けし、メカニックが適切なトラブルシューティングを、部サが迅速な部品供給を通じてお客様の信頼をつないでいく。その連携がなければ、次もCatを選択していただくことはできません。

建設の現場でもイノベーションが急速に進み、ハード(機械)とソフトを組み合わせたソリューション提案力がセールスにも必要になっています。

自分が目指しているのは、お客様に一步踏み込んで幅広いご提案とアドバイスができるパートナーになること。そのため、ICT活用のスタートやステップアップを目指されているお客様のご相談にもしっかり向き合えるよう、i-Construction説明者のライセンスを取得しました。新技術フェアなどのイベントにも時間が許さずかぎり足を運び、新しい知識の収集に努めています。

また、行政から発信される情報や業界紙のニュースにも注意を払い、お客様に価値あるアドバイスをスピーディーにお届けするよう心掛けています。

お客様との関係をテニスのダブルスに例えるなら、私たち営業所のポジションは後衛。最良のソリューション提案とサポートを通して確かな関係を築き、前衛のお客様に活躍していただけるよう、これからも全力でバックアップしていきます。

「提案力を磨き、パートナーとしてお客様の活躍を支えていきたい」



日本キャタピラー
静岡営業所

縄野 年彦
Toshihiko Nawano

LET'S DO THE WORK.™



Technology Showcase

循環プロセスを取り入れた クロアチアの混合農業に貢献する Cat[®]マシン。

クロアチアは、紺碧のアドリア海と中世の街並みが絵画のような風景を織りなす東欧の国。ドナウ川支流の自然豊かな流域には、農場が立ち並び、小麦、トウモロコシ、てん菜などの作物栽培と畜産の混合農業を行っている。この国の農業で成功するために重要なことは、他の農場との競争よりも「事業の最適化」。3つの農場を訪問し、Catマシンがそれぞれ、生産プロセスのどのような側面で効率化を達成し、持続可能な農業の実現に貢献しているかを覗いてみた。

Osilovac d.o.o. Feričanciは、穀物栽培と畜産に加え、年間100万ℓのワイン生産、バイオガス発電による約1.2MWの電力供給まで、多角的な事業を展開する大型農場。取締役社長を務めるIvan Maričić氏は、効率的な農場経営を支えるCatマシンの功績を高く評価している。「細々とした個人事業からのスタートでしたが、Catマシンによる機械化を通じて、現在は170人の従業員を抱える地域最大規模の民間企業へと成長することができました」

農場では2台のテレハンドラーと1台のスキッドステアローダ、2基のCat発電機、新たに導入された2台の908ホイールローダが稼働している。「テレハンドラーはそれぞれ農場とバイオガス

発電施設で、スキッドステアローダは主に牛の世話や運搬に使っています。農場では他社の機械も使用していますが、Catマシンははるかに品質や生産性が高く、信頼性にも優れています。これは発電機にも言えることです」

2基の発電機は、農場の肥料や牧草から生成したバイオガスを燃料として、周辺地域へ供給する電力の生産を担っている。

「バイオガスを生成した際に生じる廃棄物は液体肥料として田畑へ還し、再利用しています。私たちは農業、畜産、エネルギー供給の循環プロセスを構築し、持続可能な農業の実現を追求するとともに、人々の暮らしをより豊かなものにしていく事業を模索しています」(Ivan Maričić氏)

Bjelovar FarmもOsilovac d.o.o. Feričanciと同様、循環プロセスを構築して農業と畜産の合理化を図り、急成長を遂げている。5つの農場で60人の従業員を雇い、約1万頭の牛を飼育しているオーナーのToni Raić氏はこう話す。

「社の農場で収穫したトウモロコシは牛の飼料となり、牛糞は堆肥として畑を肥沃にしてくれます。私たちの農場は廃棄物をほとんど出しません。この循環プロセスを作り上げるためにはCatマシンが不可欠でした」

現在、Bjelovar Farmでは、農場の日常作業を行うためにカスタマイズされた2台のテレハンドラー、5台のホイールローダ、1台のホイール式油圧ショベル、3台のスキッドステアローダ、



「私たちはつねに、効率、品質、生産性の向上を図るために新しい農業のあり方を追求しています」
Osilovac d.o.o. Feričanci 取締役社長 Ivan Maričić氏



「厳しい作業環境においてもCatマシンは最高のパフォーマンスで確実に仕事をこなしてくれます」
Bjelovar Farm オーナー Toni Raić氏



「生産的なフルサークル農場プロセスを実現するためにCatマシンは欠くことのできない存在です」
Vrbovec Farms オーナー Božidar Pankretić氏

1台のブルドーザが稼働している。「アンモニアや粉塵が多く発生する厳しい作業環境下でも、Catマシンは素晴らしい機能を発揮してくれます」(Toni Raić氏)

Vrbovec Farmsは、60年以上の歴史を持つ家族経営の農場。畜産を事業の柱とし、牛に飼料として与えるトウモロコシとライ麦を栽培するために400エーカーの広大な土地を所有している。「良質な牛を育てるためには、餌をどのように作るかが重要です。一方、良質な穀物を収穫するためには、豊富な栄養成分を含んだ肥料が必要です。私たちはフルサークル農場プロセスによって農業と畜産の高品質化と生産性向上を両立

しています」
そう語るのオーナーのBožidar Pankretić氏。Vrbovec Farmsでは、およそ100kgの子牛を繁殖させ、わずか12~15ヵ月で600~700kgまで育成して市場に出荷している。他の国では最大3年掛かるとされている。

「このスピーディーな生産プロセスをCatマシンが支えています。牧草を処理するCat 950ホイールローダ、畑や農道の維持管理用のCat 434バックホーローダ、干し草や飼料の運搬や牛舎の清掃を行うテレハンドラーを所有していますが、どのマシンも非常に高い生産性を発揮して私たちのビジネスをサポートしてくれています」(Božidar Pankretić氏)



近藤社長は、静岡県の建設業界の発展を願って、人材確保や技術の継承・向上に取り組まれているリーダー的な存在です。



Cat 320による安倍川の河床掘削工事は、静岡県静岡土木事務所よりICT優良工事部門で表彰を受けました。



2019年3月に完成した本社社屋と従業員の皆さん(写真右)。エントランスの吹抜けには、社名を象徴する地球のオブジェが飾られていました。



株式会社アースシフト

代表者：近藤 隆智
 本社所在地：静岡県静岡市葵区山崎2丁目17番地の16
 設立：1985年(創業1983年)
 従業員数：80名
 事業内容：土木工業、建設コンサルタント業、建築工業業、解体工業業、水道施設工事業、舗装工業業 など
 URL：https://www.earth-shift.co.jp

工測量から設計データの作成、土量計算、自動制御による施工、出来形の計測・検査、工事完了後のデータ管理に至るまで、全面的なデジタル化を実現しているICT活用のリーディングカンパニー。群を抜く技術力で道路、河川、砂防、上下水道などのインフラ整備・保全事業に貢献し、昨年はCat 320による安倍川総合流域防災事業での河床掘削ICT導入型工事で、静岡県静岡土木事務所より表彰を受けています。また、静岡市発注の路盤改良工事現場においてCat 313による3D施工、ペイロードシステム、E-フェンス機能などの見学会を実施するなど、ICTの普及啓発活動にも努めています。

単身で起業し、一代で会社を大きく成長させた近藤社長は、若い頃は油圧ショベルに寝泊りしながら働き、実地の経験を通してスキルやノウハウを体得した“たたき上げ”。徹底した現場主義を

ICT活用体制をいち早く整え、
土木・建設のイノベーションをリード。

南海トラフによる巨大地震の発生が懸念される静岡県は、東海地震説が発表された1976年から約45年にわたって防災対策を推し進めている「防災先進県」。地元自治体の主導のもと、「事前防災」の考え方を基本に、学校や公共施設の耐震化、津波対策のほか、集中豪雨や台風による水害、土砂災害に備えた治水対策にも積極的に取り組んでいます。そうした取り組みを背景に、官民がタッグを組んで土木・建設のイノベーションに注力しており、全国トップレベルのICT施工実施率を誇っています。

今回、取材に伺ったアースシフト様は、静岡県内でもいち早くICT化に着手し、ドローンや地上型レーザースキャナによる3D起

地域の発展に尽くしながら、
地球を変えていく建設会社へ。

戦国期から今川氏、徳川氏の城下町として栄え、現在も静岡県の行政・経済の中心地となっている静岡市葵区。株式会社アースシフト様は、この地で1983年に創業以来、総合建設業のプロフェッショナル集団として、時代の工法や技術を先取りしながら安全で暮らしやすい地域インフラの整備・保全、防災対策に力を注いできました。地元静岡への貢献を目指し続ける創業社長の近藤隆智様は、今を見つめ、明日を思い、さまざまなアイデアをアクションへ変えています。

お客様
見聞録

File 11

株式会社アースシフト





安倍川水系ウラの沢流路工事で活躍するCat 313。標準搭載されたベイロードシステムで正確な積込みを実現。



コロナ禍にあえく地元の飲食店を支援したいという思いからスタートした「タッパーイーツ」。



Cat 313の取材帰りに立ち寄った静岡市内(立石エリア)の遊水地掘削工事現場。320(写真上)と312F(写真下)がICT施工で対応しています。

貫き、ICT活用においてもすべてのプロセスを自社で対応する体制を整えています。

「大手ゼネコンと当社の違いは、プロフェッショナルの実働部隊であること。さまざまな工法や最先端のテクノロジーに精通しているだけでなく、それらすべてをアウトソーシングすることなく自社で行う実践力を強みとしています。そして、その力の源泉となるのは“人(人材)”に他なりません。ですから、社員一人ひとりが安心して仕事に従事しながらキャリアを積み上げていけるような環境づくりを心掛けています」

アースシフト様では人材育成に力を入れており、多くの社員がロープアクセス技士、1級土木施工管理技士、社会基盤メンテナンスエキスパート、コンクリート診断士など、点検・調査、施工に必要なさまざまな資格を有しています。

また、建設機械やデジタル機器といった設備についても、現場マネージャーやメーカーとのコミュニケーションを絶やさず、先手を打った投資を行っているといえます。

「これからご覧いただく現場で稼働している313も、ICT対応の次世代小型油圧ショベルが出るという情報をキャタピラーセールスの方から耳にして、全国1号機となる3D仕様機を即決で購入しました。静岡市役所発注の路盤改良工事ははじめ、すでにいくつかの現場で3D施工を行いました。従来の小型機に比べて作業効率が格段にアップしました。今後は間違いなく中規模、小規模の現場でもICT施工の需要が高まってくるから、機体はコンパクトでも大きな戦力になってくれると期待しています」

防災対策の最前線で活躍する次世代小型油圧ショベルCat 313。

Cat 313が稼働している現場は、アースシフト様本社から安倍川沿いを車で北上すること約1時間の距離にある安倍川水系ウラの沢流路工事です。集中豪雨や台風によって発生する土石流から近隣の家屋や道路、畑などを守るための工事を行っています。カーブの多い山間の道路に面した現場では、Cat 313が沢からの水を安倍川の渓流へ逃がす水路を掘り進めていました。掘り起こした土砂をベイロードシステムで正確に計量しながら、キビキビとした動作でダンプに積み込んでいきます。過少積載や過積載を防げるため、積み直しなどの無駄な動きもありません。

出迎えてくださったのは現場責任者を務められている山田紀幸様。

「こちらの現場では、当社が起工測量やデータ作成も一貫して請け負い、3Dマシンガイダンスを活用してICT施工を行っています。道路のそばで作業しなければならない場合にもE-フェンスで可動範囲を設定すれば安心して作業に専念できます。車両の周囲の様子をモニターで確認できる360°ビューカメラもオペレータに好評です」

さらに、作業に応じてスピードとパワーを選べるモード選択まで、次世代機ならではの機能をフル活用してくださっているとのこと。313が稼働する現場の後方では、建設部 佐藤孝造課長が地上型レーザースキャナを覗き込み、出来形計測を行っていました。

「施工しながら出来形をチェックすることで工期の短縮を図っています。現場の規模や地形によってはドローンを飛ばすこともあります。ICTの導入によって工程の同時進行や圧縮が容易になりましたね」

佐藤課長は、アースシフト様のICT活用を一手に担うスペシャリスト。長年、現場監督として工事の指揮を執ってきましたが、これからはICT化の流れが来ると読み、機器や設計ソフトの知識や扱いを自身で学んで習得したそうです。日々自社の現場を回ってICT施工を管理する一方で、中部地方整備局よりICTアドバイザーとして認定を受け、県内同業他社へのICT技術支援も精力的に行っています。

「ハードやソフトは年々進化していますが、人材の確保が追いついていません。ICT活用を広く普及させる鍵は、(ICT)テクノロジーと土木・建設現場の両方に精通した人材の育成です」

地域と地球を見つめて、新たなアクションを起こしていく。

建設業の将来を担う若い人材の確保と育成。それは、会社にとって一番大切なのは「人」と語る近藤社長の思いと重なります。近藤社長は、多忙な企業経営のかたわら、外国人技能実習生の受入れ窓口となる「イマジン協同組合」を設立。自ら代表理事を務め、自

社で雇い入れているほか同業他社にも紹介し、労働力不足の解消と職場の活性化を図っています。また、新たな工法や技術を県内に広く普及させる目的のもと、「一般社団法人 静岡県新技術協会」を立ち上げ、先頭立って啓蒙活動に力を注いでいます。

「老朽化したインフラの再生と強靱化、防災力の向上は、一社では成し遂げられない大事業です。地域の建設業者、行政、メーカー、建

設コンサルタントが一体となって取り組まなければなりません。微力ですが、建設業の資産である人材の確保と技術の継承・向上に役立つ仕組みづくりを通して、会社を育ててくれた静岡に恩返しできればと思っています」

近藤社長の地元への恩返しは、土木・建設業の枠を越えて農業や飲食業などにも広がっています。「農業生産法人 株式会社アグリ24」を起こし、無農薬ヤーコン茶を生産・加工・販売まで6次産業化することで、耕作放棄地の活用と農業の活性化に貢献。さらに「コロナに負けるな! 地域密着応援プロジェクト」として、週に一度、社員全員分の料理を飲食店に注文し、タッパーに詰めてもらってテイクアウトする「タッパーイーツ」を続け、「2020グッドデザインしずおか」の特別賞を受賞しました。

「アースシフト」というユニークな社名。そこには、建設会社の殻を破って新しいことにどんどん挑戦し、地球(世の中)を変えていくような会社を目指そうという思いが込められています。「『不易流行』という言葉がありますが、会社にとっても“不変的な本質を保ちながら、新しい変化、新しい要素を取り入れていくこと”はとても大切です。これからも建設会社として、一企業市民として、地域の活性化とよりよい未来のために、たくさんのアイデアをアクションにつなげていきたいと思っています。ぜひキャタピラーの皆さんもお力添えをよろしくお願いいたします」



キャタピラーファイナンス eSignature(電子署名契約)のご紹介

eSignatureは、キャタピラーファイナンスとのご契約をWebサイト上で完結することができる電子署名の仕組みです。これまではご契約の際、複数の書類に署名・捺印の上、郵送していただくなどのご面倒をおかけするケースがありましたが、eSignatureをご利用いただければ、スマートフォンやパソコンからWebサイトへアクセスして数回のクリックだけでご契約手続きを完結させることが可能です。

ご契約が簡単&スピーディーに行えるeSignatureをぜひご利用ください!



eSignatureをご利用いただいたお客様の声

早くて簡単に契約できて良かったです
法律面でも有効だし
セキュリティも2段階認証で安心ですね

紙の契約書だと
保管や管理が大変でしたが
パソコンに保存できるので
便利です

連帯保証人の記載が
要らないし
自分の都合に合わせて
契約手続きできるから
楽でいい



お客様口座情報サイト
MyCatFinancialでも
電子署名契約書を
閲覧できるように準備中です



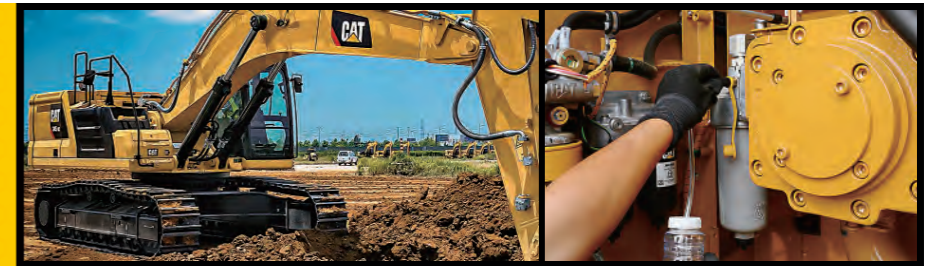
eSignature ご登録キャンペーン

2020年12月末までにeSignatureのご利用登録をいただいたお客様の中から
抽選で50名様に
Cat 1/50スケールモデルをプレゼント!



eSignatureのお申し込みについては、担当のセールスマン、キャタピラーファイナンスまでお問い合わせください。

Good Support! Good Work!



CAT®認定リビルド

Cat認定リビルドは、適切なタイミングで主要コンポーネントをリビルドし、寿命をリセットすることで、お使いのマシンの長寿命化を実現するソリューションです。経験豊富なメカニックがCat独自の基準に基づいて再生修理を行うことで新車購入サイクルを延長し、設備投資のコスト低減をお手伝いいたします。またオプションとして長期延長保証を付与することも可能で、安心してマシンをお使いいただけます。サービスの提供開始から35年以上、すでに25,000件以上の実績を有しており、全世界のお客様から高い評価と信頼をいただいています。

ニーズに合わせて最適なリビルドプログラムを提供。

「修理(リペア)」とは、故障箇所を修復し、部品の寿命まで使用可能にすること。それに対して「再生(リビルド)」は、部品の寿命が来る前に再生修理を行い、新品同様の状態に戻すことでその寿命をリセットします。

Cat認定リビルドの種類については、マシン全体を塗装まで含めて新車と同等レベルに再生する「車両リビルド」、エンジンやドライブトレインなどの動力系を対象とした「パワートレインリビルド」、お客様のご要望に基づいて任意の主要コンポーネントを復元する「主要コンポーネントリビルド」、産業用・船舶用エンジン向けの「エンジンリビルド」をご用意しています。



機械を知り尽くしたプロのセールス&メカニックが対応。

車両の使用状況、所有計画、修理予算などを考慮しながら、機械点検、性能点検、S・O・S(オイル分析サービス)を通してコンディションモニタリングを実施し、適切なタイミングでのベストなリビルドをご提案。キャタピラーが定める部品を100%交換するほか、それ以外の部品についてもメカニックがプロの目で確認し、必要に応じて交換します。また、リビルド完了後にはCat清浄度基準と性能基準に準じた整備と試験を行います。



CAT認定リビルドがお届けするさまざまなメリット。

Cat認定リビルドは、お客様に次のようなメリットをお届けします。

- 新車購入よりも安価で、新車に近いパフォーマンスのマシンを所有することができる。
- 長年ご使用されたマシンの機能や外観を購入初期に近い状態で維持できるだけでなく、新車と同等の保証を受けることができる。延長保証(EPP)の追加も可能。
- 最新の設計上アップデートを反映することによって、ダウンタイムを最低限に短縮しながら、乗り慣れたマシンを使い続けることができる。



Cat®油圧ブレーカ GCシリーズに H130 GCが新登場!



写真は油圧ブレーカの装着イメージです(姉妹機 H120 GC)。



■H130 GCの主な特長

- メンテナンスポイントへのアクセスが容易でメンテナンスコスト低減&作業時間を短縮
- グランドアクセスグリッドポイント、現場で交換可能な口アブッシング
- アキュムレータ内蔵で油圧ショベルの油圧回路を保護
- 下部に補強プレートを装備したハウジングで耐久性をアップ
- ピストンストロークアジャスタ付きで現場に合わせて打撃数・打撃力を調整可能

キャタピラーでは、H110 GC、H120 GCに続いて、25tから30tクラス油圧ショベルに装着可能なサイドブラケットタイプの油圧ブレーカ H130 GCを新たにラインアップしました。Catマシンにベストマッチのデザイン。シンプルな構造でありながら強力な打撃力を誇り、Catの厳しい設計・品質基準をクリアした優れた耐久性・信頼性であらゆる現場でお客様の期待に応えます。

小・中型油圧ショベル用油圧ブレーカのラインアップがさらに充実。お使いのマシンに合わせて最適なモデルをお選びいただけます。

モデル	H110 GC	H120 GC	H130 GC
推奨油圧ショベル質量	t 11~16	18~25	25~32
総質量	kg 837~868	1,663~1,718	2,187~2,205
打撃数	回/分 450~650	400~800	350~700
エネルギー	J 2,000	4,000	6,000
作動油流量	ℓ /分 80~100	125~150	160~190
作動圧	kPa 14,000~16,000	16,000~18,000	16,000~18,000
ツール直径	mm 98	135	150

トップマウント低騒音型
油圧ブレーカ
Eシリーズ

自動給脂、耐摩耗パッケージ、水中稼働用KITなどのオプションも充実したプレミアムシリーズ。11tから76tクラスまで全7モデル(H110Es-H180Es)を取り揃えています。



ワークツールリコグニション(オプション)

ブレーカに装着したCat PL161通信モジュールを車両*が自動認識し、あらかじめ車両に登録したブレーカに最適な油圧設定に自動で変更。交換時の油圧設定の手間やミスを削減できます。

*Bluetooth®スキャナ付きのCat次世代油圧ショベルのみが対応



安全衛生資格「再教育」の話 その2

持ってますか?
この資格

前回No.109では再教育のカリキュラムについてご紹介しました。その中でも「車両系建設機械(整地等*)運転業務従事者安全衛生教育」と「ローラ運転業務従事者安全衛生教育」は、建設機械の運転に関わる方にとって「建設キャリアアップシステム」のレベルアップに必要な資格となります。今回は、「建設キャリアアップシステム」の概要と上記2つの講習の受講が必要になるケースについてご紹介します。

*1 整地・運搬・積み込み用及び掘削用

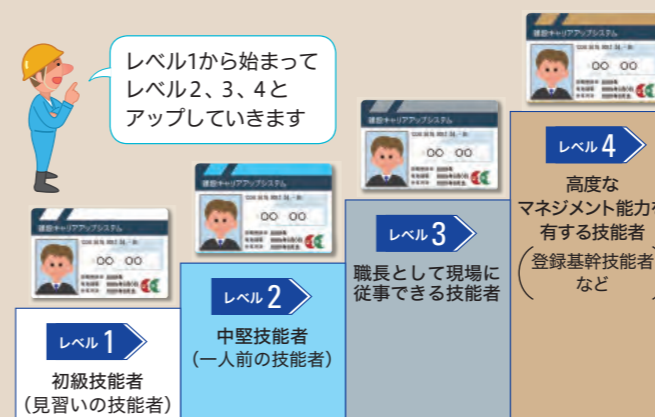
〈建設キャリアアップシステムに蓄積される個人の情報〉

本人情報	保有資格など	社会保険加入状況など
マイナンバーカードや運転免許証などで確認	資格の証明書や免許証などで確認	保険証や建退共**2手帳などで確認
●氏名 ●生年月日 ●性別 ●職種 ●国籍 ●住所 ●顔写真 など	●保有資格 ●研修受講履歴 ●表彰実績 など	●社会保険加入状況 ●労災保険特別加入状況 ●退職金共済制度への加入状況 など ※2 建設業退職金共済事業本部

このシステムに登録した技能者には、次のようなメリットがあります。

- 就業履歴をICカードに蓄積
ICカードをカードリーダーにかざすだけで、どこの現場でも共通のルールで自動的に就業履歴を蓄積でき、実力を証明できます。
- 技能者の処遇改善
賃金アップや建退共で退職金を積み立てて、処遇の改善が実現されます。
- 技能や経験の確認・証明を簡易化
取得した資格やこれまでの経歴を簡易に確認・証明できます。また、将来的には上記のICカード1枚で何枚もの資格証の持参が不要になるように検討されています。

また、登録した技能者には、評価基準に基づき、レベルに応じて色分けされたカードが配布されます。そして、このレベルが、会社および現場での評価につながるようになります。



※カードのデザインやカラーはイメージです。

レベルアップに必要な資格の多くはキャタピラー教習所で取得することができます。詳しくは、お近くの各教習センターへお問い合わせください。

2020年10月現在、35職種の能力評価基準があります。一例として「機械土工技能者」の評価基準を見てみましょう。

		機械土工技能者	
レベル4	就業日数	10年(2150日)*3	・登録機械土工基幹技能者 ・1級土木施工管理技士 ・1級建設機械施工技士 ・優秀施工者国土交通大臣顕彰(建設マスター)
	保有資格*4		
レベル3	就業日数(職長)	職長として3年(645日)	・車両系建設機械(整地等)運転業務従事者安全衛生教育 ・ローラ運転業務従事者安全衛生教育 ・青年優秀施工者土地・建設産業局長顕彰(建設ジュニアマスター)
	就業日数	7年(1505日)	
レベル2	就業日数(職長+班長)	職長または班長として1年(215日)	・車両系建設機械(整地等)運転技能講習 ・ローラの運転の業務に関する特別教育
	就業日数	2年(430日)	
レベル1	保有資格		建設キャリアアップシステムに技能者登録し、かつ、レベル2から4までの判定を受けていない技能者

*3 「週休2日の推進に向けた適切な工期設定の運用について」(国技建管第19号平成29年3月28日)における雨休率を参考として、就業日数215日を1年として換算することとする。
*4 各レベルの保有資格は、いずれかの保有で可。

レベル2から3へレベルアップするには、赤字で記した「車両系建設機械(整地等)運転業務従事者安全衛生教育」または「ローラ運転業務従事者安全衛生教育」を受講する必要があります。これら2つの講習は、キャタピラー教習所での受講が可能です。

また、その他の職種についても各レベルに必要な資格がありますので、下記ホームページでご確認の上、積極的に資格取得に努め、レベルアップを目指してください。

■国土交通省
https://www.mlit.go.jp/totikensangyo/const/totikensangyo_const_fr2_000040.html

■建設キャリアアップシステム
<https://www.ccus.jp/>

技能講習・安全教育のご用命はこちらまで /
キャタピラー教習所株式会社

本社：〒253-0111 神奈川県高座郡寒川町一之宮7-11-1
TEL 0467-73-1221 FAX 0467-73-1211
ホームページアドレス <http://cot.jpncat.com>

詳細は
キャタピラー教習所 検索





Road-rail hydraulic excavator Cat® 308SR

国内初! Next Generation Cat 軌陸油圧ショベルを JR九州グループに納車。

キャタピラーは、Next Generation油圧ショベルとして国内初の軌陸仕様機を、2020年10月13日、JR九州グループの九鉄工業株式会社様(福岡県)に納車しました。現在、佐世保線複線化軌道新設工事に投入されています。

同機は、建設機械の特殊仕様の設計・製作に豊富な実績を持つキャタピラー九州が、308SRを軌道工事用に最適化したモデルです。今回初めての軌陸仕様機を手掛けるに当たっては、JR九州様、九鉄工業様よりご指導とご協力をいただいております。

軌陸油圧ショベルは、作業の機械化による労働者不足への対策、ローカル線の保線作業の労力軽減などに寄与するものと期待されています。



(写真上) JR九州および九鉄工業の関係者様とキャタピラー九州のスタッフによる納車式
(写真右) 稼働前の実地研修の様子



TOPICS

Cat®ブルドーザ モデル名変更のお知らせ

このたび、Catブルドーザのモデル名をよりシンプルに変更させていただくことになりましたのでお知らせいたします。「D6K」「D7E」など、これまでのモデル名にはアルファベットのシリーズ名が付いていましたが、今後はブルドーザ(Dozer)の「D」の後にエンジン出力順に1~11までの数字を付け、最小クラスを「D1」、最大クラスを「D11」とします。新たなモデル名への変更は、主に新製品発表のタイミングで順次行っていくこととなります。モデル名は変わりますが、優れた性能と高い安全性、革新的なテクノロジーというキャタピラーのモノ作りの歴史は変わることなく引き継がれていきます。どうぞご期待ください。



PRESENT ご愛読者プレゼント

「CAT CLUB No.110」のご意見、ご感想をお寄せください。抽選で3名様にCatグッズをプレゼントいたします。

次世代油圧ショベル320
1/50 スケールモデル
3名様

ご当選者には、セールスマンが賞品を直接お届けいたします。

お届けの際、賞品の色などが見本と異なる場合がございますが、あらかじめご了承ください。



〈応募要領〉
必要事項を記載いただき、下記メールアドレス宛にご応募ください。

■お名前 ■ご住所 ■連絡先のお電話番号 ■会社名
■「CAT CLUB」へのご意見・ご感想

〈応募先アドレス〉 cat-club-japan@cat.com

〈応募締切〉 2021年2月26日(金)



ご提供いただきました個人情報は、当社の個人情報保護方針に基づき、今後の商品開発・販売促進などに利用させていただきます。当社の個人情報保護方針は、当社ホームページからご覧いただけます。

<https://www.caterpillar.com/ja/legal-notices/dataprivacy.html>

NETIS登録

最新テクノロジー搭載

313 標準運転質量：12,700kg
標準バケット容量：0.52m³



現場に追い風を

まったく新しい発想で登場したCat[®]次世代油圧ショベルに、いよいよ0.5m³クラスがラインアップ。
Catグレードやペイロード、E-フェンスのテクノロジーを搭載した313、315で小規模土工用に対応。
313GCは尿素水不要でメンテナンス時間やコストを削減。
今日も動き続ける様々な現場をCatの小型油圧ショベルが支えます。



尿素不要

313 GC 標準運転質量：12,700kg
標準バケット容量：0.52m³



NETIS登録

後方小旋回機

315 標準運転質量：13,300kg
標準バケット容量：0.52m³

キャタピラー http://www.cat.com/ja_JP/

CAT CLUB編集室 〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい3-7-1
TEL.045-682-3424

CAT CLUBメールアドレス cat-club-japan@cat.com

©2019 Caterpillar. All Rights Reserved. CAT, CATERPILLAR, LET'S DO THE WORK. それらの各ロゴ、"Caterpillar Corporate Yellow", "Power Edge", およびCat "Modern Hex"のトレードドレスは、本書に記載されている企業および製品の識別情報と同様に、Caterpillar社の商標であり、許可なく使用することはできません。

CC-110-0(1120)



CAT CLUB デジタル版も
好評配信中!



この印刷物は、環境にやさしい植物油インキを使用し、水なし印刷を採用しています。
用紙には適切に管理された森林で生産された木材を原料に含むFSC[®]認証用紙を使用しています。